令和8年（2026 年）11 月 25 日

保護者の皆様

札幌市立苗穂小学校
校　長　岡田　一伸

令和8年度　文部科学省「全国学力・学習状況調査」の結果について

寒露の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、今春に6年生児童を対象に実施しました「全国学力・学習状況調査」の本校の結果についてお知らせします。この結果を今後の授業や教育活動の計画に役立てていく所存です。なお、本調査により測定できるのは学力の一側面であることにご留意くださいますようお願いいたします。

児童質問紙より　～生活習慣・学習状況で全国平均より特に肯定的な回答が多かった質問事項～

＊（　）は、全国の数値

- ○　国語の勉強は好きですか　67.8%(57.4%)
- ○　自分には、よいところがあると思いますか　93.6%(85.6%)
- ○　学校の勉強のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか　82.3%（75.0%）
- ○　あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校での活動でプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思いますか　80.7%(74.6%)
- ○　5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか　71.0%(66.4%)
- ○　普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか　96.7%(92.5%)
- ○　総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどの ICT 機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていますか　83.8%(79.7%)
- ○　人が困っているときは、進んで助けていますか　96.7%(92.7%)
- ○　先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか　95.2%(91.4%)

「自分にはよいところがある」「普段の生活の中で幸せな気持ちになる」「困っている人を進んで助ける」などの項目で非常に高い肯定率となりました。教職員や友達との温かい関わりの中で生活することへの充実感や自己肯定感が着実に育まれていることが窺えます。また、「学校の勉強について親や家族と話す」割合も高く、ご家庭での温かい励ましや対話を背景に、子どもたちが安心して生活や学習に取り組むことができているのではないかと考えられます。今後も本校の合言葉である「あったかハート」を大切に、一人一人のよさを認め価値付ける教育活動を進めてまいります。

学習面においては、「国語の勉強が好き」という回答が全国平均を大きく上回ったほか、ICT 機器を活用したプレゼンテーション（スライド作成）や、自分の考えが伝わるよう工夫して発表することに自信をもつ子どもが多い結果となりました。自発的に考えをまとめ、表現することに楽しさや達成感を感じながら取り組んでいる様子が窺えます。

児童質問紙より ～生活習慣・学習状況で全国平均より肯定的な回答が少なかった質問事項～

＊（　）は、全国の数値

○ 国語の授業で、文章などを引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていましたか 67.7%(80.7%)

○ 算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えましたか 71.0%(81.7%)

○ あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思いますか 61.3%(69.5%)

○ 各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか 66.1%(73.4%)

○ 分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか 72.6%(79.4%)

○ 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか 79.0%(85.7%)

○ 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか 72.5%(77.6%)

今回の結果からは、学びの過程において「情報を整理すること」や「根拠や文章表現を工夫して自分の考えを広げ・深めること」に課題が見られました。また、算数などで解き方が分からない場面に出会った際に、あきらめずに粘り強く多様な方法を試みることにも伸びしろが感じられる結果となっています。

日々の授業においては、発表などの成果物だけでなく、思考ツールや ICT 等を活用して考えを整理・再構成するプロセスを重視し、友達との対話を通じて互いの考えを高め合える指導の改善に努めてまいります。

また、文章の引用や構成などの基礎的な表現技能やノート指導を丁寧に行い、自分の意図や考えが相手にしっかりと伝わる表現力を身に付けられるよう取り組んでいきます。

生活・学習の姿勢においては、自分で課題を見いだし、学び方を工夫して取り組む主体的な態度を育んでいきます。今後も教育相談（三者懇談）やキャリアパスポート等を活用し、ご家庭と連携しながら子どもたちの目標や挑戦をともに温かくサポートしてまいりたいと考えます。

≪その他≫

○学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1 日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか

⇒2 時間以上の割合が、全国は 21.6%に対し、本校は 25.8%となっています。

○土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1 日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか

⇒2 時間以上の割合が、全国は、9.6%に対し、本校は、11.3%となっています。

○学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1 日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどの ICT 機器を、勉強のために使っていますか

⇒1 時間以上の割合が、全国は 13.4%に対し、本校は 17.7%となっています。

○昼休みや放課後に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館に どれくらい行きますか

⇒週に 1 回以上の割合が、全国は 17.6%に対し、本校は 50.0%となっています。

国　語

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
知識及び技能 **【言葉の特徴や使い方に関する事項】** ☆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	●学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。	○ 当該学年までに配当されている漢字を読んだり、書いたり、文や文章の中で使うとともに、段階的に書き、文や文章の中で使う学習活動の充実。
【情報の扱い方に関する事項】 ☆全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	●情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。	○ 目的や意図を明確にし、複数の叙述や語句の関係を図示などにより整理することを通して、考えをまとめる学習活動の充実。
思考力、判断力、表現力等 **【話すこと・聞くこと】** ☆全国平均を下回っている。	●資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。	○ 聞き手の興味・関心や情報量などを予想し、どのような資料を用意すればよいかを考えたり、資料を提示しながら話す仕方について検討したりする学習活動の充実。
【書くこと】 ☆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	●引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。	○ 引用する目的を明確にし、原文を正確に引用したり、引用した部分と自分の考えとの関係を明確にして、区別しながら書き表したりする学習活動の充実。
【読むこと】 ☆全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	●目的に応じて、必要な情報を見付けること。	○ 読む目的を明確にし、筆者の考えや文章の中で挙げられている事例、読み手自身の経験など、複数の情報を取捨選択・整理・再構成しながら考える学習活動の充実。

算　数

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【数と計算】 ☆全国平均を下回っている。	●数を四捨五入して、概数で表すこと。	○ 概数を実感的に捉えられるように、数直線を用いて数を四捨五入して 概数で表したり、「以上」「以下」「未満」などの用語とその意味について理解したりできるような学習活動の充実。
【図形】 ☆全国平均を下回っている。	●直方体の箱の形を構成する面について理解すること。	○ 観察や構成などの活動を繰り返して図形の性質を見付けたり、図形の性質を確かめたりすることができるようにする学習活動の充実。
【測定】 ☆全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	●示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めること。	○ 示された情報を基に、全体と部分の関係に着目して、条件に合う数量を求めることができるようにする学習活動の充実。
【変化と関係】 ☆全国平均を下回っている。	●百分率で表された割合と比較量から、基準量を求めること。	○ 問題場面から、基準量、比較量、割合の関係を捉えることができるようにする学習活動の充実。その際、何が基準量で何が比較量にあたるのかを的確に把握し、計算に結び付けるようにすることが大切。
【データの活用】 ☆全国平均を下回っている。	●帯グラフの特徴と用い方を理解し、およその割合を読み取ること。	○ 日常生活の場面のデータをグラフに表したり、データについて全体と部分、部分と部分の間の関係を調べると特徴を捉えやすい事象があることに気付いたりできるような学習活動の充実。